

令和4年度 富岡地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

○担当地区の高齢化が進み、高齢化率は市や金沢区の平均を上回っています。一人暮らしや高齢者世帯の増加も進んでおり、長年活動を続けてきた地域団体やボランティアの高齢化など他地区と同様の悩みがあります。山坂の多さも高齢者を悩ます大きな要因となっています。
○町内会等地域団体を基礎とする活動は活発に行われており、地域のコミュニティーは確保されています。民生・児童委員などによる福祉保健活動も活発です。そこでこのような地域団体等との情報交換や地域課題を考える各種の会合を通じて人材の発掘確保・地域課題の抽出などに取り組み、必要な支援を地域ともに考えていきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	・地域住民がひきこもりの親亡き後を懸念していることについて、現状共有と今後について考える場を設け5職種で関わっていく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・区と共に地域団体のリーダー等(元気づくりマイスター)とコンタクトを取り、各種事業の調整を行う。 ・中学校と連携し地福計画ワークシートの活用を目指す。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・銀行・郵便局等での認知症サポーター養成講座の開催し見守りの輪を広げていく。 ・認知症講座を開催し認知症の理解を深め、早期発見・予防に努める。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・各自治会や介護保険各事業所を訪問し介護者のつどい等の情報を提供する。 ・エンディングノート書き方講座(個別講座含む)を開催して情報を提供する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・健康づくり教室・元気づくりステーション・認知症予防事業(スリーA・コグニサイズ・認知症カフェ・介護者のつどい等)の充実を図り社会参加の場を広げていく。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

・8050問題をはじめとしたひきこもりに関する課題について5職種で共有し理解を深めることが出来た。次年度は個別ケースにおける取り組みや地域の居宅介護支援事業所からの相談にも対応できるようにしたい。
・今年度は当方の事業計画日程とマイスターの日程が合わず見送りとなった。次年度は早めに日程のすり合わせが出来るようにしたい。中学校との連携は民生委員とも協働し行うことが出来た。
・郵便局でのサポーター養成講座は開催出来なかったが、顔のつながりが出来たことで個別ケースに対する見守りを連携して行うことが出来た。
・認知症理解講座は複数回開催。毎回違った参加者で広く周知することが出来た。
・介護者のつどいの情報発信は多岐にわたり行うことが出来た。その結果、エンディングノート書き方講座にも大勢の参加者があった。
・健康づくり教室・元気づくりステーション・認知症予防事業(スリーA・コグニサイズ・認知症カフェ・介護者のつどい等)に5職種が関わることで参加している地域の方へのアプローチも増え、参加者の増加にもつながった。一部参加者の低迷があるが次年度チームオレンジモデル事業へ手挙げしており底上げに向けた取り組みを検討。

区からのコメント

個別相談、移動販売、自主事業などケアプラザ全体の取組から地域の課題やニーズを把握し、5職種はじめ、所内で共有されています。共有された課題・ニーズが検討されながら新たなネットワーク作りや取組に活かされています。
地域の方の直面する「課題」に対し、個別対応のみならず講座やつどい・認知症カフェなどの事業を通じて広く普及啓発に務めていただいています。また、取組が地域の方の「活躍できる場づくり」にもつながるよう意識され、地域力の下支えともなっています。
次年度も引き続き、人と人をつなぐ福祉保健の拠点として取組を推進していただきますようお願いいたします。
